

教授

伊藤 直子

## ■ 学歴

---

1. 1976年 九州大学医療技術短期大学部看護科 卒業
2. 1977年 福岡県立看護専門学科保健婦助産婦科 卒業
3. 1987年 国立公衆衛生院専攻課程看護コース 修了
4. 1996年 佛教大学社会学部社会学科 卒業

## ■ 学位

---

1. 1996年 学士（社会学）

## ■ 研究分野

---

1. 公衆衛生看護学
- 2.
- 3.

## ■ 研究キーワード

---

1. 公衆衛生看護
2. 地域包括ケア
- 3.

## ■ 研究課題

---

1. 行政における看護職である保健師の機能と役割について、考察する。また、それらの機能を学ぶための学士課程実習での教育方法を検討する。
2. 地域包括ケアシステムにおける看護職の機能について検討する。

## ■ 担当授業科目

---

1. 公衆衛生看護学概論（前期） 必須
2. 保健福祉学入門（前期） 必須
3. 保健医療福祉行政と政策（前期） 選択
4. 公衆衛生看護管理演習（後期） 選択
5. 公衆衛生看護学実習（前期） 選択
6. 地域母子保健（助産別科）（前期） 必須
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p><b>授業科目名【公衆衛生看護学概論】</b></p> <p>公衆衛生看護学概論は、2023年度より2年生の前期必修科目として配置された。</p> <p>第1回の授業では、本科目を学ぶ意義について、生活者としての視点をおいた説明を行い、毎時の授業では、講義開始の冒頭で本時の学習目的を学生の理解しやすい言葉で説明した。毎時のコメントカードで得られた学習内容への質問・意見等は次の講義冒頭に還元し、学習内容の理解に努めた。講義形式ではあるが、学生と教員の双方向コミュニケーションを心掛け、授業成果を共有することに努めた。</p>
2.	<p><b>授業科目名【保健医療福祉行政と政策】</b></p> <p>保健医療福祉行政と政策は、3年生前期に配置された選択科目である。保健師課程の学生には必修科目となっているが、保健師課程を選択していないが科目内容に関心があり受講した学生もいる。</p> <p>科目内容は、既習した保健医療福祉の知識を基盤に、行政の施策及び政策の策定まで学習する内容となっているため、現存する日本における制度について具体的事例を通して、思考する構成としているため、クラスルームを活用し、アクティブラーニングを実施した。</p> <p>結果、授業評価の質評価において、意図した主体的学習を促すための教育方法については、一定の成果を上げたと評価できる。</p>
3.	<p><b>授業科目名【保健福祉学入門】</b></p> <p>保健福祉学入門は、1年生前期に配置された必修科目である。保健福祉学部への導入科目となっている。看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。</p> <p>オムニバス形式の講義となるため、講義開始前の導入について、担当講師との打合せおよび調整を行った。各々の学科の学生は、他学科の教員の講義を聴くことで、自身の学ぶ学問領域の関心を深め、他職種と協働していくことの重要性を考えていくこと目的としている。</p>
4.	<p><b>授業科目名【公衆衛生看護学実習】</b></p> <p>公衆衛生看護学実習は、2023年度においてもコロナ禍の影響を受ける状況の中での実習ではあったが、学生の学習意欲及び効果が得られるよう教員間の情報交換を密に行いながら、教育支援を行ったことにより、学生の教育支援が効果的に運営された。実習環境は行政の対応により異なるが、学習成果の達成状況に大きく差は見られず、全員の学生が到達レベルに達することができた。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1979年4月～現在に至る	日本公衆衛生学会	
2.	1989年4月～現在に至る	日本地域看護学会	
3.	2000年9月～現在に至る	日本在宅ケア学会	
4.	2002年9月～現在に至る	日本医療・病院管理学会	
5.	2003年2月～現在に至る	日本看護学教育学会	
6.	2003年8月～現在に至る	日本高齢者虐待防止学会	

7.	2005年6月～現在に至る	日本健康教育学会	
8.	2008年4月～現在に至る	日本看護研究学会	
9.	2008年4月～現在に至る	日本看護科学学会	

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
<b>（著書）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（学術論文）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（翻訳）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（学会発表）</b>					
1.					
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

<b>（1） 共同研究</b>				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）
1.				
2.				
3.				

<b>（2） 個人研究</b>				
	研究題目	交付団体	交付決定額 （単位：円）	備考
1.				

2.				
3.				

## ■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2005年4月～現在に至る	日本看護系大学協会	会員
2.	2005年4月～現在に至る	粕屋町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定協議会	委員
3.	2006年4月～現在に至る	粕屋町地域包括支援センター・地域密着型介護サービス運営協議会	委員
4.	2007年4月～現在に至る	福岡県介護保険審査会	専門調査員
5.	2015年4月～現在に至る	全国保健師教育機関協議会	社員
6.	2016年4月～現在に至る	福岡県総合計画審議会	委員
7.	2018年2月～現在に至る	行橋市地域保健計画推進委員会	委員
8.	2021年4月～現在に至る	日本看護学会学術集会	抄録選考委員
9.	2023年4月～現在に至る	北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議 介護予防・活躍推進に関する会議	座長
10.	2023年4月～現在に至る	北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議 調整会議	副座長
11.	2023年4月～現在に至る	北九州市健康づくり懇話会	座長

## ■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2021年4月～現在に至る	大学保健福祉学部	学部長
2.	2021年4月～現在に至る	学校法人西南女学院	理事・評議員
3.	2022年4月～現在に至る	大学・短期大学部	副学長